

社協だより



No.216 令和3年1月10日発行

題字:自彊小学校6年生 村上陽飛さん

令和3年 新年のごあいさつ



明けましておめでとうございます。皆様方のご多幸を心よりご祈念申し上げます。

平素は、社会福祉協議会に対しまして、多くの町民の皆様の温かいご支援ご協力を賜り厚く感謝申し上げます。

さて、令和2年は新型コロナウイルス感染症の脅威によって、これまでの日常生活を大きく変えることとなりました。そして、まだまだ先の見えない中でウイルスと共存し、自分に合った新しい生活様式で生活していかなければならないと思います。

高齢化の急速な進行に伴い、単身世帯や高齢者世帯、認知症高齢者の増加など、高齢者をめぐるさまざまな問題が浮かび上がっています。また、格差社会に起因する貧困やひきこもり、子どもに対するネグレクト、そして新型コロナウイルス感染症の影響から来る生活困窮など、深刻な社会問題も顕著化しております。

誰もが地域で安心して暮らしていくためには、地域住民の関わり、支援・支えあい求められております。

従来から社会福祉協議会が担ってきた地域福祉の推進に対する取り組みと、培ってきた地域のつながりを活かし、地域福祉施策を実践してまいりますので、町民皆様方の一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

吉田町社会福祉協議会 会長 田島逸雄

学校に盲導犬がやってきた！

令和2年12月8日 中央小学校、自彊小学校



PR犬 ファイン君

日本国内では909頭、静岡県内では36頭の盲導犬が活躍しているよ。

子ども達に、盲導犬や視覚障がいについての理解を深めてもらおうと、日本盲導犬総合センター富士ハーネスから押野さんと池田さんをお招きし、4年生の総合学習で講師を務めていただきました。

歩行や階段の昇降などをデモンストレーションし、人間の目となって誘導する盲導犬の仕事を披露してくれました。

「盲導犬と出会い、私の人生が大きく広がった。」
「パートナーの盲導犬と一緒にディズニーランドに

行って一日中歩き回ったけれど、一度も人とぶつかることがなかった。」と押野さん。その盲導犬の仕事ぶりに、子ども達から「すごい」という驚きの声が上がっていました。

仕事上の盲導犬には、『声を掛けない、触らない、見つめない、食べ物を与えないこと』、『道で困っている人がいたら「信号は青ですよ。」「どうしたらいいですか?」などと積極的に声を掛けてよいこと』を学び、子ども達一人ひとりが「自分たちにはどんなことができるんだろう?」と考える機会となりました。



赤い羽根共同募金

令和2年度も町民の皆様方をはじめ、企業や事業所さま、店頭、学校
 でのご協力によりたくさんの善意が寄せられました。

吉田町で集められた募金は、単身高齢者の見守りや福祉教育、ボラン
 ティアの育成等、町内の様々な福祉活動に役立てられます。



スーパー等



自彊小学校



歳末
たすけあい

歳末たすけあい運動



日頃、見守りが必要とされる在宅の方に対し、民生委員児童委員の
 皆様を通じて慰問金品を贈呈いたしました。

この運動には皆様からご協力いただきました歳末たすけあい募金
 を活用しました。

あたたかいご支援をいただきありがとうございました。

やさしいところをありがとう

(令和2年10月16日~12月15日)

ご寄付

- 吉田町菓子工業組合 支部長 木下福興 様
- 大石忠幸 様
- 田原正巳 様
- 絵手紙クラブ 様

物品ご寄付

- 増田公一 様 介護用品
- 公益社団法人島田法人会 青年部会 様 緑茶・タオル

使用済み切手のリサイクル

- 宮本 様
- 株式会社良知園芸 様
- 塚本新聞店 様
- 有限会社吉田電設 様
- 株式会社カネハチ 様
- コーエイセンイ株式会社 様
- 株式会社クメタ製作所 様
- 絵手紙クラブ 様

書き損じハガキのリサイクル

- 前田浩志 様
- 有限会社吉田電設 様



公益社団法人島田法人会 青年部会 様



吉田町地域包括支援センターからのお知らせ

「介護者のつどい」のご案内

「家族介護交流会」参加者募集中

日 時： 令和3年2月16日(火)午後1:30～3:00
場 所： 吉田町健康福祉センターはあとふる 2階研修室
対 象 者： 町内在住の在宅介護者(先着20名)
申込〆切： 令和3年2月10日(水)

「家族介護教室」参加者募集中

日 時： 令和3年3月8日(月)午後1:30～3:00
場 所： 吉田町健康福祉センターはあとふる 2階研修室
対 象 者： 町内在住の在宅介護者(先着20名)
内 容： 『リラックス法を学んで
心身ともに元気になろう』
講 師： 健康運動指導士 飯田はづき氏
申込〆切： 令和3年2月15日(月)

同じ悩みや経験をもつ
介護者同士で、
交流を深めませんか？



問合せ・申込み先： 吉田町地域包括支援センター ☎33-2323

ふれあい広場特別企画 福祉ふれあい週間を実施しました!

(12月14日～18日)



12月に特集号を
発行しました

みんなが楽しく
交流する姿を
みるのが
楽しみです。

団体の
活動紹介をするのに
とても良い
機会だと思います。



吉田町健康福祉センター1階を会場に、各団体の活動紹介の掲示や、これまでため置いたふれあい広場の様子をDVDに納め、終日放映しました。

懐かしい風景に足を止めて見入っている人もあり来場者の皆様に楽しいひとときを過ごしていただくことができました♪



使用済み切手、書き損じハガキへの リサイクルにご協力ください

海外でのボランティア活動に学ぶ「高校生スタディツアーINアジア」の訪問先であるタイ国スリン県タクラーン村は、「象の村」として、象使いの人々が象とともに生活をしてきましたが、政府により、バンコクに象使いが出稼ぎに出ることが禁じられたため、村では象が生きていくための食料を調達する資金が足りません。静岡県ボランティア協会では、タクラーン村の象を保護するため、象の食料となる樹木を植林する資金づくりのとりくみとして、使用済み切手を収集しています。使用済み切手は換金され、植林や食料備蓄といった「象の村」に住む村人と象たちのために使われます。

書き損じハガキは、静岡県のボランティア活動の推進等に使われています。

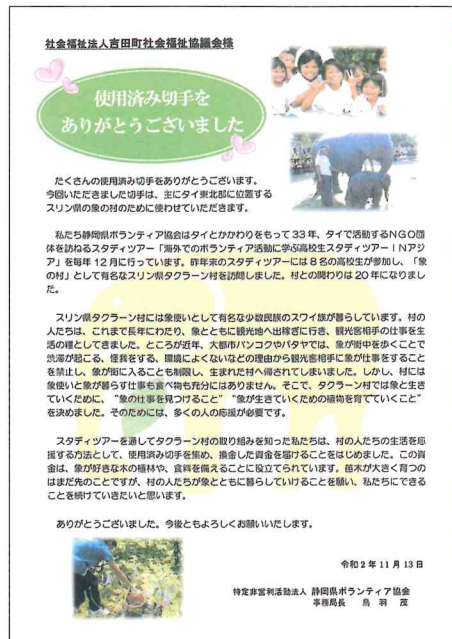
★お願い
切手の周囲を
5mm程度、
残して切って
ください。



令和2年度は、

**使用済み切手約11kg
書き損じハガキ292枚**

を静岡県ボランティア協会へ送ることができました。
ありがとうございました。



問合せ・受付窓口：社協 ☎34-1800

そうだん掲示板

■心配ごと相談(予定)

1月13日、27日、2月10日、24日、3月10日
健康福祉センターミーティングルーム
午後1時30分～

(受付終了:3時30分、予約なし)

*弁護士、人権擁護委員、民生委員児童委員、
行政相談員が対応します。

(問)社協 電話34-1800

■司法書士権利擁護相談

1月20日、2月17日、3月17日
(毎月第3水曜日) 健康福祉センター相談室
午後1時30分～午後4時30分

1週間前までにご予約ください。

(問)社協 電話34-1800(要予約)

■ボランティア相談

平日午前9時～午後5時

*ボランティアを始めたい方への対応や
活動資金相談(助成金情報)を受けて
おります。

(問)社協 電話34-1800

■生活福祉資金貸付相談(県委託)

平日午前9時～午後5時

*審査あり。まずはお問い合わせ下さい。

(問)社協 電話34-1800

■生活支援・自立支援相談

平日午前9時～午後5時

*日常生活上の不安解消のため、
必要な窓口や手続きにおつなぎします。

(問)社協 電話34-1800

■高齢者総合相談

平日午前9時～午後5時

*高齢者介護、虐待対応等の相談を
受けております。

(問)地域包括支援センター 電話33-2323

■心の病相談

1月20日、2月17日、3月17日

(毎月第3水曜日)

総合障害者自立支援施設「あつまりーナ」

(問)相談員:桑高(電話32-1793)※要予約

■知的障害者相談

2月2日、3月2日(毎月原則第1火曜日)

健康福祉センター「はあとふる」ミーティングルーム

(問)相談員:芝(電話32-3065)※要予約

★ご相談によっては、担当の民生委員児童委員さんの意見等が必要な場合があります。

★すべての相談は無料です。すべての相談は秘密厳守です。



社会福祉法人 吉田町社会福祉協議会

吉田町片岡795-1 吉田町健康福祉センター「はあとふる」内

法人運営課(代表)	☎ 34-1800	在宅福祉課	居宅介護支援事業所	☎ 33-2325
包括支援課(地域包括支援センター)	☎ 33-2323 (fax33-2540)		訪問介護事業所	☎ 33-1051
			通所介護事業所	☎ 33-2423

FAX33-2606

E-mail: csw-yosid@po2.across.or.jp

ホームページ: https://www.yoshida-shakyo.jp/



☆社協だよりは皆様からご協力いただいた「赤い羽根共同募金」の配分金でつくられています。